三和協働支援センター

2021年4月

いいとこいっぱい

「人にやさしいまち」
さんわをめざして

― 第2期三和地区まちづくり計画 ―

目　次

第1章　第2期まちづくり計画策定の趣旨 …… 1

第2章　三和地区の現況と特性 …… 3

第3章　三和地区のまちづくりの課題 …… 15

第4章　三和地区の将来ビジョン …… 17

第5章　部門別計画と評価指標 …… 18

第6章　計画推進のためのポイント …… 22

第1章　第2期まちづくり計画策定の趣旨

1　計画策定の背景

神石高原町の人口は減少し続けており，20 年後には約 5,100 人へと半減し，高齢化率は 54.5%に達すると見込まれています。

地域産業の停滞，コミュニティ組織の崩壊，空き家や耕作放棄地の増加などがより一層懸念されます。

こうした課題に対応するため「神石高原町協働によるまちづくり推進条例」（平成 28 年 3 月 2 日条例第 6 号）が制定され，油木，神石，豊松及び三和の各地区に「協働支援センター」を設置，地域における自主的な活動や取り組みを行政と協働しながら，効果的に進めるための体制づくりがなされました。

三和協働支援センターでは「生き活き元気！人にやさしいまち　さんわをめざして」とした第1期三和地区まちづくり計画を策定し，自治振興会を中心に各種団体と連携し取り組みを進めてきました。

2020 年度でこの計画期間が終了することから，これまでの評価と新たに加える課題を整理し「第2期三和地区まちづくり計画」を策定するものです。

固屋城跡からの展望（正面は三和小学校・三和中学校）

2　計画の策定体制

3　計画の期間

計画の期間は，2021 年度から 2025 年度の５ヵ年とします。

2019 年さんわふるさとフェア

第2章　三和地区の現況と特性

1　位置・概要

三和地区は，神石高原町の南部に位置しており，地区の中心地から福山市までの距離は約 30㎞の距離にあります。

面積は約 127.46㎢で，町全体の 33%を占めています。

主な道路は，国道 182 号が南北方向に，主要地方道吉舎油木線が東西方向に走っており，町内の他の地区や近隣市街地と結ばれています。

自治振興会は，井関大矢，時安，坂瀬川，小畠，上，高蓋，父木野及び木津和の8つの地区で運営されています。

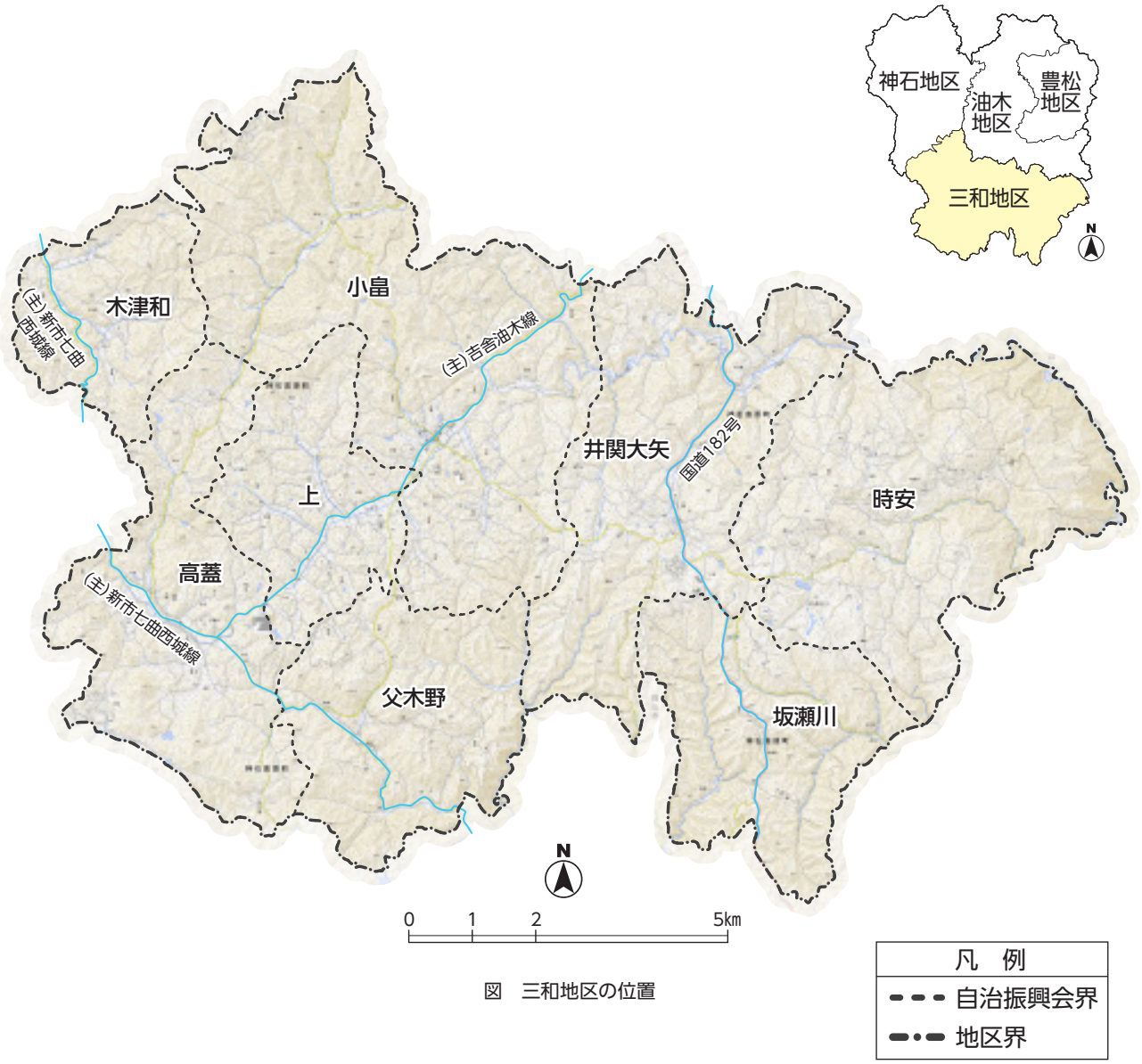


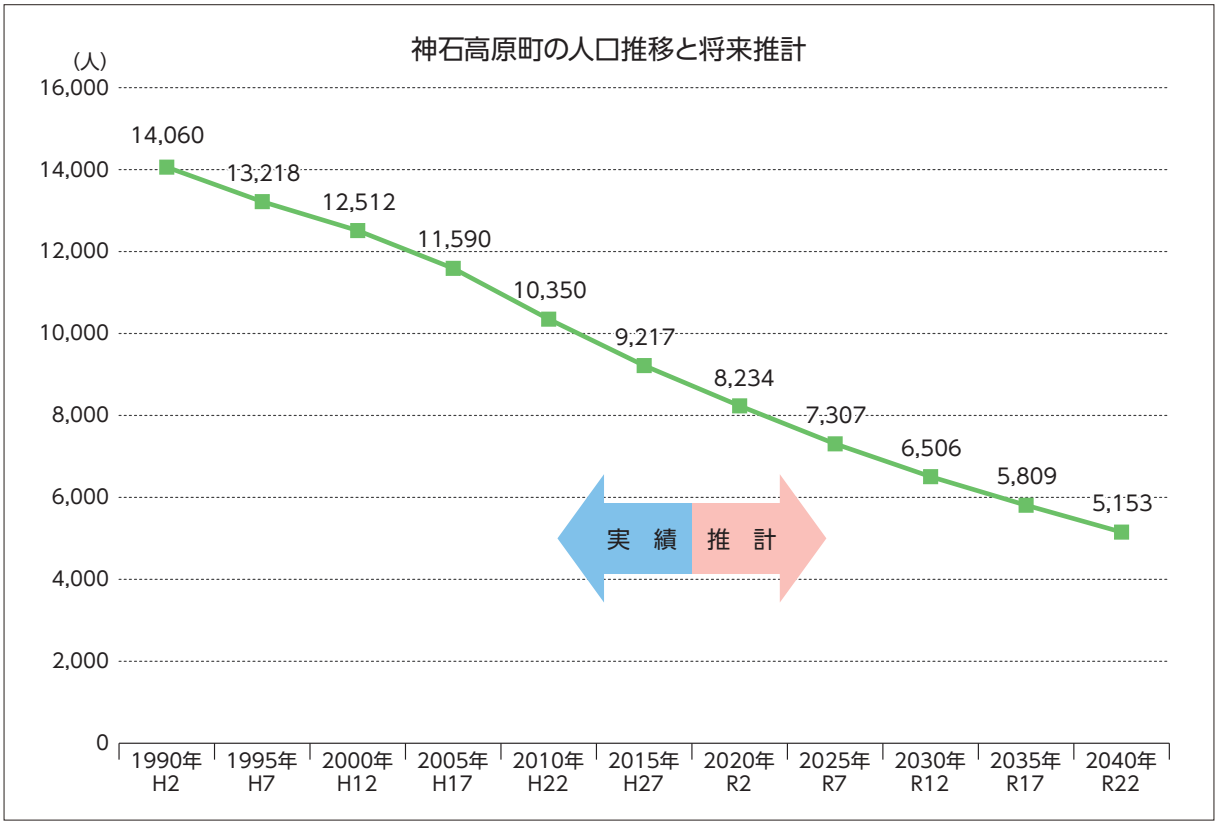
図　三和地区の位置

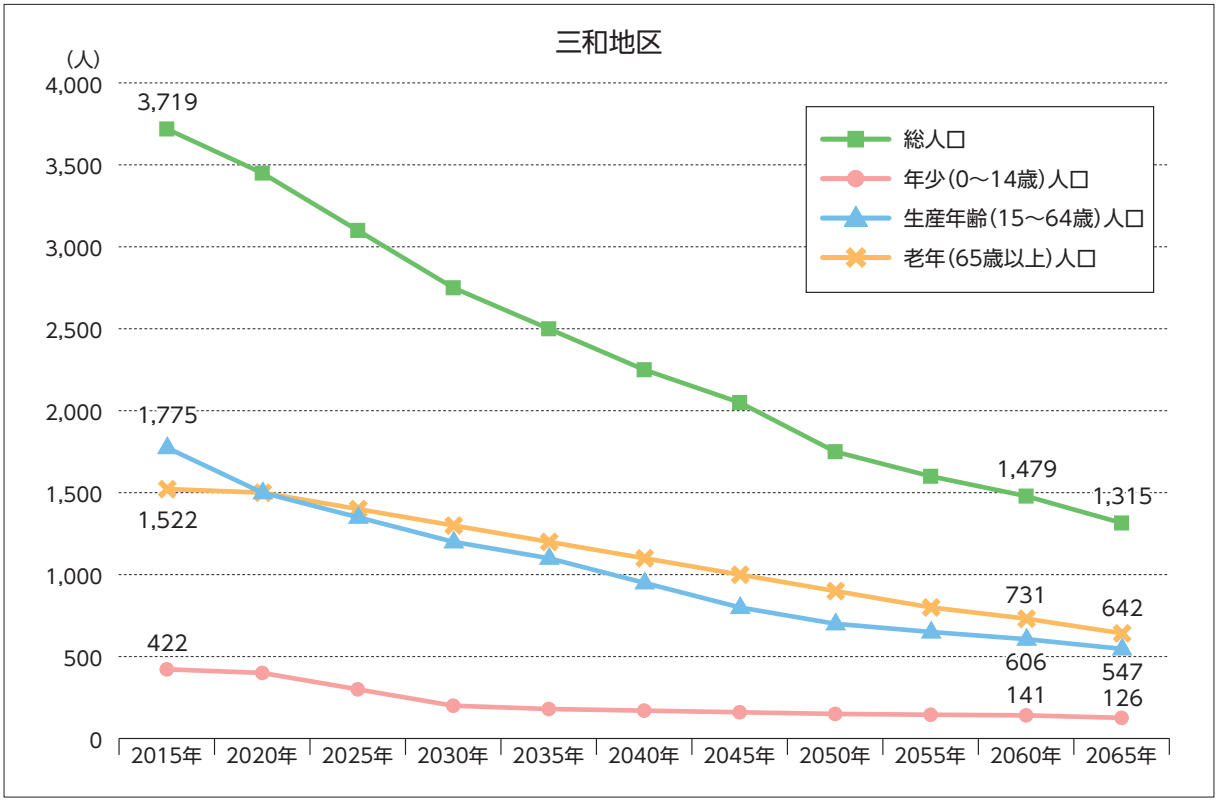
2　人口・世帯の動向

(1) 人口の推移と将来推計

神石高原町の人口の推移をみると一貫して減少傾向にあります。

また，国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると，2040（令 22）年には，5,153 人にまで減少すると予測されています。





資料：2015（H 27）年までは国勢調査実測値，2020(令 2）年以降は国立社会保障・人口問題研究所推計

神石高原町人口集計表

（単位：人）

	2005年	2010年	2015年	2020年
三和地区	4,604	4,249	4,001	3,729
油木地区	3,142	2,796	2,431	2,114
神石地区	2,849	2,516	2,161	1,867
豊松地区	1,842	1,622	1,402	1,194
合　　計	12,437	11,183	9,995	8,904

神石高原町世帯集計表

（単位：世帯）

	2005年	2010年	2015年	2020年
三和地区	1,492	1,463	1,488	1,508
油木地区	1,157	1,110	1,060	982
神石地区	1,077	1,029	972	894
豊松地区	603	589	575	549
合　　計	4,329	4,191	4,095	3,931

65 歳以上・75 歳以上・0～14 歳人口集計表

（単位:人，パーセント）

		2005年	2010年	2015年	2020年
高齢化率 (%)	町 全 体	40.94	42.31	44.56	46.90
	三和地区	35.76	37.11	37.74	40.03
65歳以上	町 全 体	5,092	4,732	4,454	4,176
	三和地区	1,646	1,577	1,510	1,493
75歳以上	町 全 体	2,896	3,151	2,974	2,543
	三和地区	945	1,022	961	859
0～14歳	町 全 体	1,237	1,006	866	736
	三和地区	537	449	438	416

※表中の数値は住民基本台帳（1月公表分）

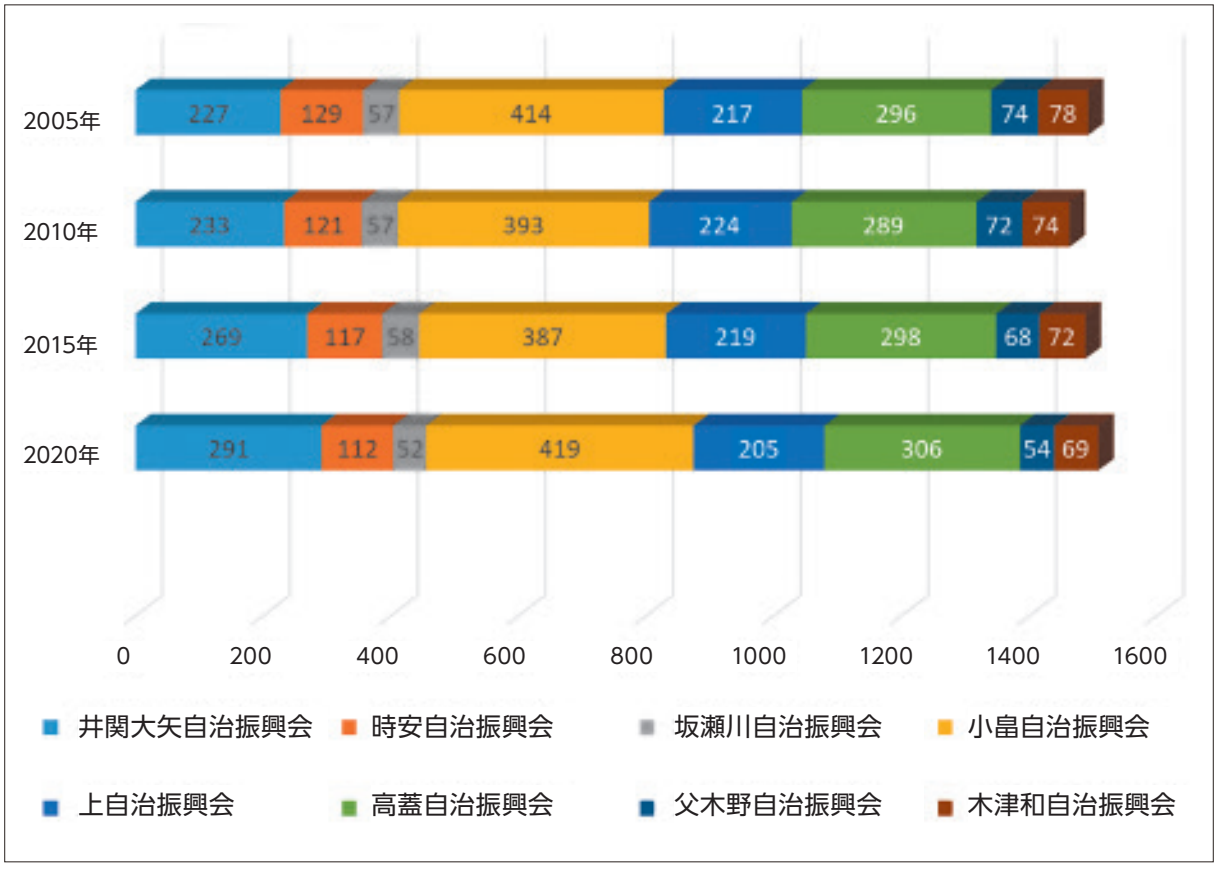
（2）自治振興会別人口・世帯の動向

自治振興会別人口の推移

（単位：人）

	2005年	2010年	2015年	2020年
井関大矢自治振興会	683	627	692	731
時安自治振興会	365	332	306	256
坂瀬川自治振興会	174	154	141	116
小畠自治振興会	1,234	1,153	1,061	1,011
上自治振興会	734	690	626	571
高蓋自治振興会	963	899	830	745
父木野自治振興会	225	191	159	134
木津和自治振興会	226	203	186	165
合　計	4,604	4,249	4,001	3,729

自治振興会別世帯数の推移



※表中の数値は住民基本台帳（1月公表分）

3　公共公益施設の状況

地域の暮らしを支える行政施設，保健・医療・福祉施設，教育施設などが小畠に集中しています。

また，高蓋にどんぐり幼稚園が，井関に小学校や保育所などの公共公益施設が分布しています。

2020エール花火

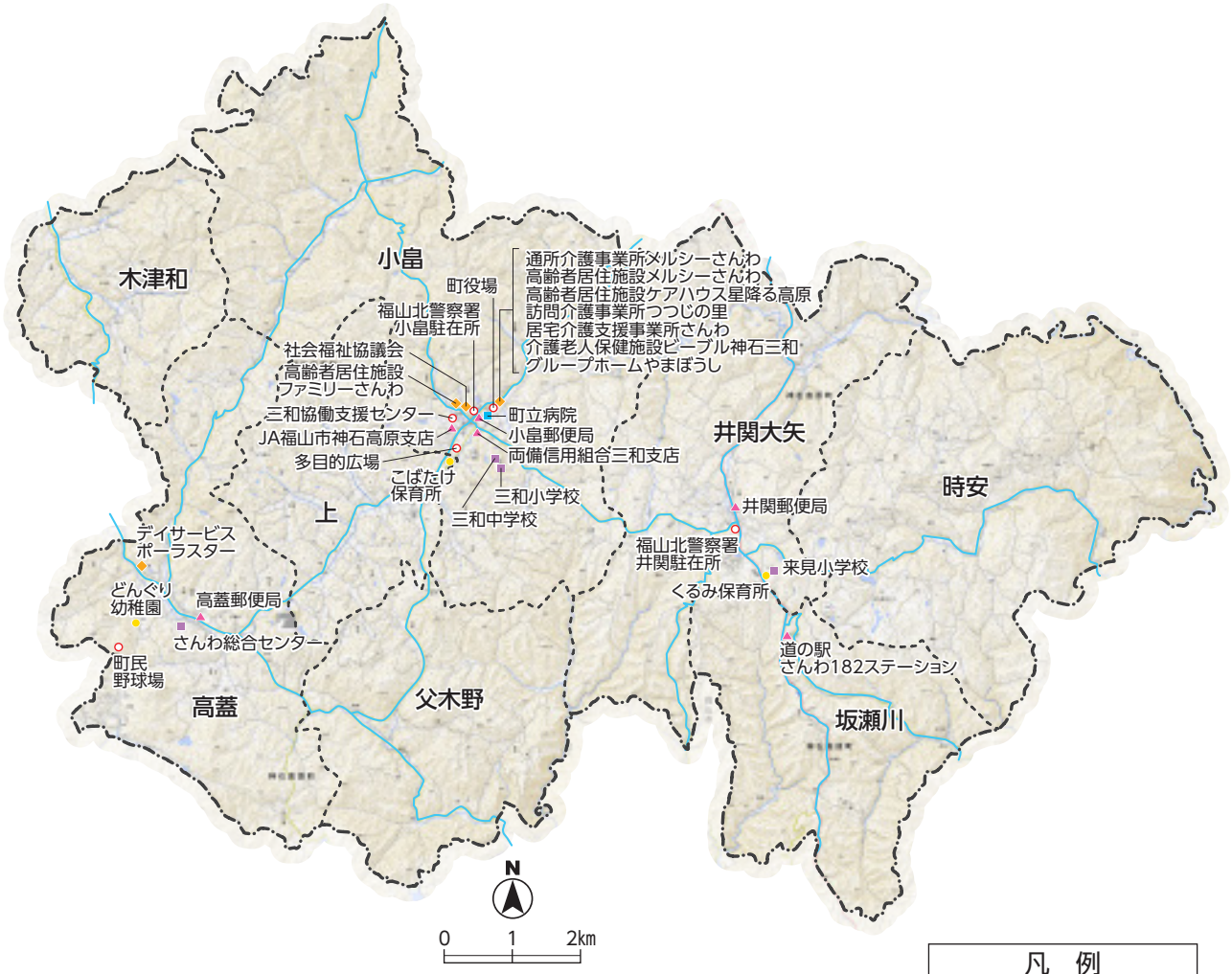


図　公共公益施設の分布状況

凡　例
行政サービス
保健･医療サービス
福祉サービス
子育て関連施設
教育施設
生活サービス

凡　例
自治振興会界
地区界

4　道路・公共交通の状況

道路網は，国道 182 号，主要地方道吉舎油木線，同新市七曲西城線のほか，一般県道7路線が町内各地区及び三和地区内の各地域を連絡しています。

住民の移動手段である公共交通は，路線バスが国道 182 号，主要地方道新市七曲西城線，同吉舎油木線，一般県道帝釈峡井関線などを運行しています。

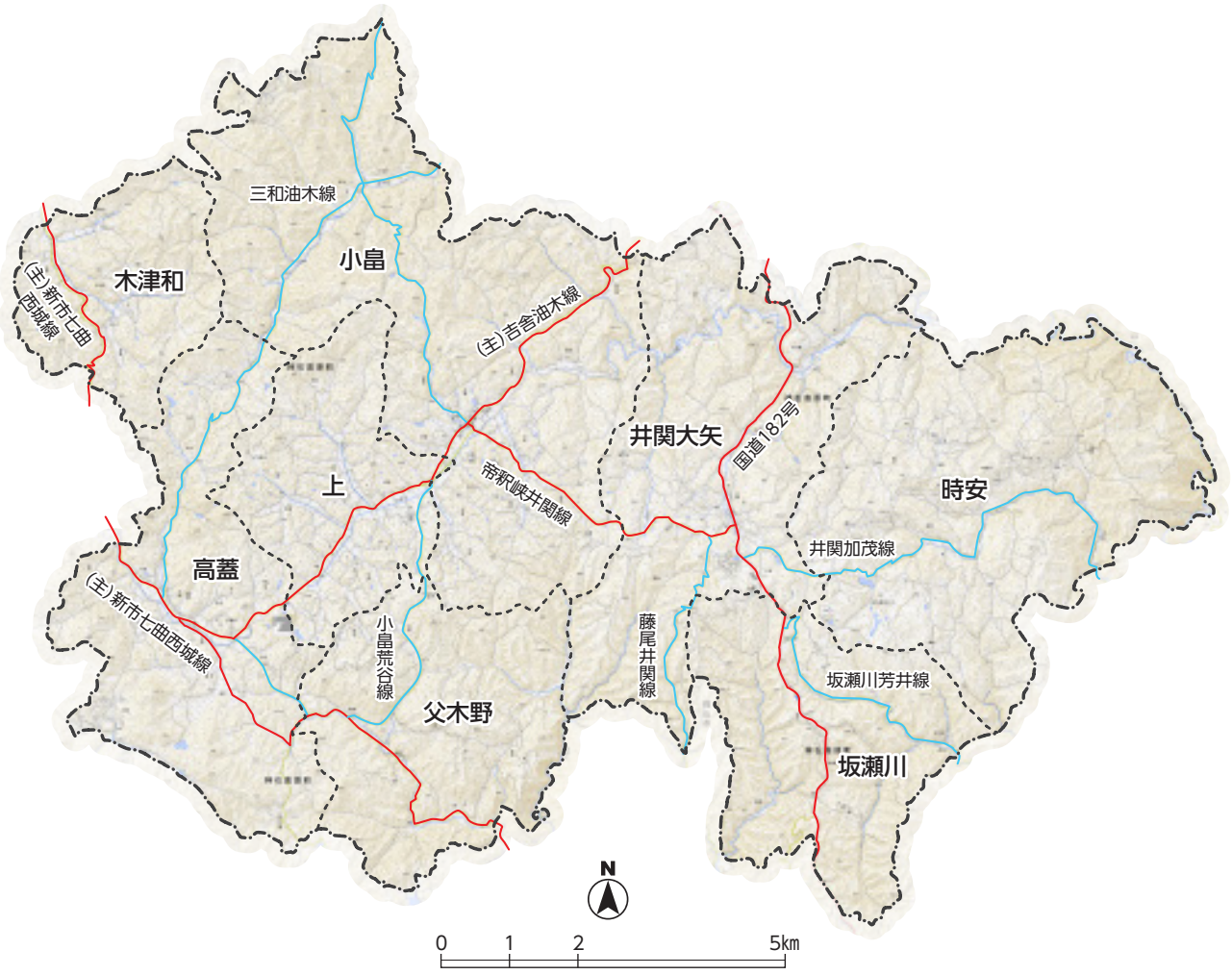


図　道路・公共交通の状況

凡　例
自治振興会界
地区界

凡　例（公共交通）
路線バス（中国バス）

上：イルミネーション

5　地域資源の状況

三和地区には，国道 182 号沿いに町の玄関口となる「道の駅さんわ１８２ステーション」をはじめ,「神石高原温泉」,「星居山森林公園」,「光信寺の湯ゆっくら」などの観光･レクリエーション施設が点在しています。

また，自然的資源，歴史的・文化的資源，景観資源などの多様な地域資源が多く分布しています。

図　地域資源の分布状況

凡　例
自治振興会界
地区界

凡　例	
主な山頂	祭りの行われている神社
貴重な生物の生息地	特徴のある建築物，構築物，橋梁等
貴重な社寺林，樹木（名木，巨木）	公園，レクリエーション地，交流施設等
歴史的建築物，構築物，城址等	中国自然歩道

時安：史跡案内板

父木野：長生きの水

坂瀬川：大型紙芝居

6　地域活動の状況

自治振興会の活動状況

自治振興会	特徴のある取り組み
井関大矢	・花畑の整備 ・教育の支援（放課後子ども教室，来見っ子体験教室） ・研修旅行など
時安	・盆踊り，グラウンドゴルフ大会などの地域イベント ・サロン活動と百歳体操等による高齢者支援 ・防災訓練を通しての地域づくり
坂瀬川	・犬塚物語再生事業（史跡整備） ・花いっぱい運動
小畠	・地域，世代間交流を支援（かぶと虫ハウス等） ・伝統文化，芸能の継承支援 ・自主防災体制のモデル地域づくり（顔の見える助け合い） ・歴史と平和をつなぐ地域づくり（固屋城跡プロジェクト） ・小畠市場振興協議会の活動
上	・地域に根ざしたサロン活動と体操等による高齢者支援 ・工夫を凝らした訓練など，自主防災活動の推進 ・エコパーク（リサイクル資材収集）の管理 ・運動会，夏祭り，花火，イルミネーションなどの地域イベント
高蓋	・高蓋芸能発表会の支援 ・高蓋イルミネーションの会，やまなみ劇団の支援 ・地区民運動会（父木野自治振興会と合同）や夏祭りの開催 ・高蓋おじゃみの会（生き活き元気百歳体操）
父木野	・サロン活動や百歳体操による高齢者支援 ・親子ふれあいの会などのイベント ・納涼大会や地区民運動会（高蓋自治振興会と合同）
木津和	・花いっぱい運動の取り組み ・年忘れふれあいの会や地区民運動会（グラウンドゴルフ）

小畠福寿会：かぶと虫ハウス

くるみ合同サロン

地区民運動会

団体の活動状況

団　体　名	主な取り組み
保育所・幼稚園保護者会	・子どもの安心安全対策の企画参加と実施 ・地域とともに子どもの成長を見守る環境づくり
小学校・中学校保護者会	・学校教育への積極的参加と支援 ・授業参観，各種懇談会，協議会等により家庭，学校，地域の連携の緊密化
老人クラブ連合会三和支部	・会員相互の親睦と交流 ・趣味，教養，地域活動等の事業
社会福祉協議会	・ふれあいサロン活動等による地域のつながり支援 ・地区社協との連携による小地域福祉活動の推進 ・福祉教育及び生活支援体制整備事業の推進 ・生活困窮者自立相談支援事業等の相談援助 ・日常生活自立支援事業等の権利擁護事業 ・神石さわやかネット活動 ・各種貸出事業及び生活福祉資金貸付事業
消防団三和方面隊	・団員の技量向上のための訓練の実施 ・予防広報活動による災害のない地域づくりの推進
女性会三和支部	・会員相互の親睦と交流 ・あいさつ運動，交通安全街頭指導 ・地区，自治振興会，学校の行事等への参加と支援
神石高原商工会	・地域企業者の発展のための経営・税務・金融・創業等の相談と指導（創業・事業継承・技術開拓資金調達・雇用対策等への支援）
青年会三和支部	・会員相互の親睦と交流 ・各種イベントの企画，参加及び支援（30 歳の成人式，ふるさとフェア，餅つき大会など）
三和地域体育協会	・地区運動会，ソフトボール，ソフトバレーボール，グラウンドゴルフ等の開催，三和駅伝大会の支援
文化連盟三和ブロック	・神石高原町総合文化祭，三和各地区文化祭の開催
民生委員児童委員協議会	・高齢者，障がい者やその家族が地域で安心して暮らせる見守りと支援 ・地域の子ども，子育て家庭への見守りと支援 ・地域住民の身近な相談や困りごとへの支援

7　三和地区の特性

☑　三和地区の南西部が，福山市の商業施設や府中市に隣接しており，自家用車を使用して通勤圏内にあることから，定住や移住など期待は持てる反面，買い物など町外に求める傾向にあります。

☑　三和地区内には，標高 835 mを有する星居山と「星居山森林公園」，ゆったりと時間を過ごせる「光信寺の湯ゆっくら」や「神石高原温泉」など観光レクリエーション施設も充実しています。

☑　来見地区は，国道 182 号沿いに位置し「道の駅さんわ 182 ステーション」を中心に町内外からの集客は，地域産業に活力を生み出しています。

　また，合併後に整備された「星の里団地」の効果もあって，地域全体のイメージアップにつながり，そうした事象を背景に，来見小学校やくるみ保育所が配置されています。

☑　小畠地区は，役場本庁舎と神石高原町立病院，社会福祉協議会，ビーブル神石三和，ＪＡ福山市神石高原支店，三和協働支援センターなどの公共公益施設が集積し，町の中心地が形成されています。

　また，三和小学校及び三和中学校は，同一敷地内に配置されて小中連携した教育の取り組みが進められていますし，旧三和小学校跡地を活用した「多目的広場」は，体協小畠支部グラウンドゴルフ部で維持管理がされており，町内外からの多くの参加者を集めた大会など数多く開催されています。

多目的広場：グラウンドゴルフ大会

☑　高蓋地区は，400 人収容のホールを有する「さんわ総合センター」や電光掲示板を配した町民野球場などを有しており，これらの施設を活用した「やまなみ劇団」の公演や神楽の競演，球場での野球大会など各種のイベントや交流事業が取り組まれています。また，学校法人ころころ学園「どんぐり幼稚園」は，家庭的な雰囲気での幼児教育により町外からの通園もあります。

木津和：百歳体操

平成30年実施の全戸アンケート調査から（自由記載欄のご意見）

総務事業部	自治振興会活動	・恒例行事の見直しと魅力あるイベントの実施 ・休日ごとに行事が多く，家のことや農業ができない ・現役世代への負担が増大，人口に見合った組織と活動を ・夫婦共働き，仕事を辞めたら地域活動に協力したい ・支援センターが活発であれば，町の活性化につながる ・10 年先を見越して取り組みを進めてほしい ・センターの活動がよくわからない
	移住定住	・移住者や農業希望者の受入体制づくり ・定住のための働き場所の確保
	移動・交通	・交通手段がなく，何にも参加できません ・運転できない者は，バス路線が廃止になり買い物にも困る ・運転免許証の返納など，車に乗らない者の外出支援が必要 ・タクシー助成の利用方法や手続きが変わると年寄りは困る
	防犯・防災	・人通りも少なくなったが街灯の整備を進めてほしい ・昼時間帯の高齢者や要支援者の対策が必要 ・地域に避難所が無く，基幹避難所まで遠い
福祉事業部	福祉・医療	・70 歳となり，将来の不安を感じているが何をしていいか ・商店が少なくなり，食料品や生活必需品の買い物が困る ・高齢者世帯やひとり暮らしの見守り組織ができればいい ・引きこもりやその家族の支援 ・人工透析など最低限の医療体制の維持と存続 ・幼児の救急医療
	子育て	・共働き世帯の子育ての支援（地域で預かる仕組み） ・保育所や幼稚園の施設整備 ・いじめや不登校など課題を持った子たちの支援
公民館事業部	生涯学習	・センターから離れると参加しにくいし，関心も薄れる ・小畠で開かれる教室や行事には遠くて参加できない ・山林が荒れている。山の管理や倒木利用の学習の機会を ・パソコン教室でなく，スマホ教室を開いてほしい ・図書館を充実してほしい ・休日の開館を検討してほしい ・ホームページの見方がわからない
	教育の支援	・少人数での学習は競争力に欠ける ・学校，家庭以外の学習の場が少ない ・わら細工の伝承や史跡巡りなど地域を誇れる講座 ・地域の達人や有資格者発掘とその活用

平成30年実施の全戸アンケート調査から（自由記載欄のご意見）

産業環境事業部	産業・観光	・高齢化と後継者不足で草刈りにも困る ・農地の維持が困難。遊休農地，荒廃地の増加 ・野菜の販路，集荷システムの確立が必要 ・道の駅さんわ 182 ステーションを拠点にまちの観光と活性化を推進 道の駅さんわ 182 ステーション 多様な産品が並ぶ売店
	集落環境	・田舎やふるさとがなくなりそうです ・高齢化にともない家や農地の管理ができなくて不安 ・危険な家屋の増加と空き家の適切な管理 ・道路沿いの松枯れや支障木の伐採 ・有害鳥獣（猪・野猿・カラス）の被害で作物が作れない

第3章　三和地区のまちづくりの課題

ここでは，まちづくりの課題について，第1期まちづくり計画から引き続いて取り組む課題，さらには，全戸アンケート調査などで明らかとなった課題を4つの部門別に整理しました。

1　誰もが安全で豊かに暮らせるまちづくり

①　地域の誰もが安全に暮らせる環境づくり

子どもからお年寄りまで，地域の誰もが安全に暮らせる環境づくり，登下校時の安全確保やあいさつ運動，隣近所での声かけや安否確認など，それぞれの地域できめ細かな取り組みを行う必要があります。

②　ふれあい豊かな地域コミュニティづくり

急速に進む人口減少と高齢化の中で，自治振興会をはじめとする地域コミュニティ組織の維持や体制の見直しを図り，10 年後もふれあい豊かな地域づくりをめざして取り組む必要があります。

③　地域の魅力を発信し，人口減少の歯止めと定住移住の推進

ICT【Information and Communication Technology】情報通信技術を活用し，さまざまな機会を利用して地域の良いとこや魅力を発信，活性化を図ることで定住移住を推進する必要があります。

④　防災体制の充実

災害時における一人暮らしや高齢者世帯などの支援体制や，自主防災組織を中心に防災意識の向上について，日常的に取り組む必要があります。

2　福祉の充実と医療体制の確保で安心のまちづくり

①　食料品などの買い物の支援

地元商店の減少にともない，食料品などの生活必需品の買い物支援対策について取り組む必要があります。

②　高齢者の通院や外出の際の交通手段の確保

自動車運転免許証の返納やバス路線の廃止にともなう，通院や外出の際の交通手段の確保について支援する必要があります。

③　医療体制の維持と存続

救急医療や透析治療など，地域に欠くことができない医療体制の維持と存続がまちづくりの基本として取り組む必要があります。

④　地域ぐるみで子育て世代を支援

次世代を担う子どもたちの育成は，地域ぐるみで支援する必要があります。

3　多様な学習活動で豊かに暮らせるまちづくり

①　生涯学習の充実

子どもからお年寄りまで，多様な学習の機会が提供できるよう教室・講座の内容や開催場所などの充実に取り組む必要があります。

②　伝統文化の継承と図書館の充実

地域の伝統文化の継承や歴史的な資源の活用を図るとともに，シルトピアカレッジ図書館と連携し，図書館機能の充実を進める必要があります。

4　産業の振興と快適な集落環境づくり

①　産業の振興と地域資源の活用

地域資源を生かした農林業の活性化と遊休農地の利用，多様な地域資源の有効活用に取り組む必要があります。

②　地域の活性化とまちの魅力の発信

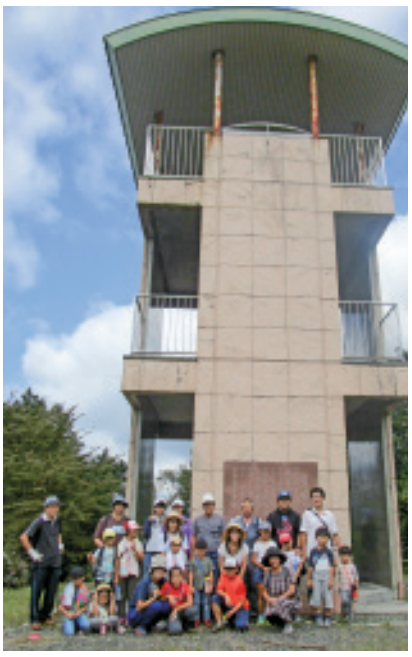
道の駅さんわ 182 ステーションを核とした，農林産物の生産販売で，地域の活性化とまちの魅力を発信することが重要です。

③　快適に暮らせる集落環境づくり

集落における草木の繁茂，山林の荒廃，有害鳥獣の増加など，地域の環境や景観を保持する取り組み，老朽家屋の増加など空き家の適切な管理を促す必要があります。

さんわふるさとフェア

8.6 平和学習：黒い雨の舞台を巡る



星居山：展望台

第4章　三和地区の将来ビジョン

1　まちづくりの基本理念

三和地区のまちづくりは，次の2つの基本理念に基づいてすすめます。

1.　誰もが安心して，安全に暮らせるまちづくり

子どもからお年寄りまで，さまざまな年代が一緒になって支え合い，誰もが安心して，安全に暮らせるまちづくりをめざします。

2.　地域資源を活用した魅力あるまちづくり

豊かな自然環境，豊富な歴史的・文化的資源，産業資源や人的資源を活用した，魅力あるまちづくりをめざします。

2　将来像

第１期のまちづくり計画の将来像を継承します。

1.　『人にやさしいまち』さんわ

私たちは，相互の支え合いにより，誰もが気軽に外出や地域活動に参加でき，安心して心豊かな生活を送ることのできるまちづくりをめざします。

3　計画のテーマ

計画期間中（2021～2025年）のテーマを次のとおりとします。

1.　『いいとこいっぱい❤』

自分の周りや地域のいいとこを自覚し，誇れるまちづくりをめざします。

4　計画の柱

拠点施設を核に「10年後も安心して暮らせる地域づくり」をめざします。

将来のイメージ図

第5章　部門別の計画と評価指標

基本目標 1　誰もが安全で豊かに暮らせるまちづくり

1−1　安全に暮らせるまちづくり

①地域の拠点施設を核に，誰もが気軽に集まれる憩いの場づくり

- いきいき百歳体操やサロン活動の推進

②高齢者の見守りと安否確認

- 社会福祉協議会や民生児童委員との連携
- 緊急カードの冷蔵庫保管や隣近所の声かけ
- かがやきネットの安心通知の活用の推進
- 社会福祉協議会や郵便局など，各種の見守りサービスの紹介

③子どもたちの登下校時の安全確保

- 保護者会や地域安全推進委員会，警察などと連携した見守り活動の推進
- 登下校時のあいさつ運動の推進
- 防犯灯の整備で夜間の安全対策の推進

④自主防災組織の活動の充実

- 避難マニュアルの作成と防災マップの周知
- 多様な災害を想定した訓練や防災対策の推進

1−2　ふれあい豊かなコミュニティづくり

①自治振興会や班の体制，活動の見直し

- 青年会，女性会，老人クラブ，体育協会など地域の団体との協力連携
- 地域の拠点施設を核とした，特色あるコミュニティづくり

②地域の魅力の発信で誇れる地域づくり

- 地元の魅力や『いいとこ』の情報を発信し，地域の活性化を推進
- 自治振興会のホームページ開設と「告知放送」の有効活用

評価指標

指　標　名	現状値 (2019年)	目標値(2025年)
班会議 (常会) 又は連絡網	33/63	63/63
自主防災組織の防災訓練	70.0%	100%
自治振興会のホームページ	12.5%	100%
自治振興会告知放送の活用	25.0%	100%

印は地域（自治振興会・班）が主体，印は支援センターが主体となって取り組む課題

基本目標 2　福祉の充実と医療体制の確保で安心のまちづくり

2−1　在宅生活の総合的な支援

①高齢者や障がい者の在宅生活の支援

- 外出し交流することで，心も生き活き百歳体操の推進
- 隣近所による声かけや地域で助け合う仕組みづくり
- 地域の各種団体の協力による敬老会の開催
- 社会福祉協議会と連携し，情報や対応の共有化
- 社会福祉協議会や郵便局など，各種の見守りサービスの紹介

②食料品など生活必需品の買い物の支援

- 生協や通信販売の利用の検討
- 地域の拠点施設を活用した出店，移動販売車による立寄り
- 社会福祉協議会の「さわやかさん」などの支援サービスの紹介

③通院や外出機会の確保のための移動の支援

- 高齢者のタクシー助成の活用
- 現状のバス路線維持のための利用の促進
- シニアカーの安全運転講習会の実施

病院を守る会

2−2　地域医療と高齢者集合住宅の整備

①町立病院を核とした地域医療の充実

- 地域に欠くことのできない救急医療や透析治療の継続要請
- 冬季支援住宅の利用促進と高齢者の集合住宅の整備等の要請

2−3　地域ぐるみで子育て支援

①次世代を担う子どもたちを地域ぐるみで支援

- 保護者と一緒に参加できるイベントや教室の開催
- 青少年育成町民会議の取り組みや制服の譲渡会などを通じて，子育て世代の交流を推進

評価指標

指　標　名	現状値（2019年）	目標値(2025年)
百歳体操の参加率（65歳以上）	16.1%	20%
拠点施設に出店（実証実験）	0ヶ所	3ヶ所
シニアカーなどの安全講習会	2ヶ所	3ヶ所
制服譲渡会や世代間交流	3回/年	5回/年

印は地域（自治振興会・班）が主体，印は支援センターが主体となって取り組む課題

基本目標 3　多様な学習活動で豊かに暮らせるまちづくり

3−1　生涯学習の充実

①多様な学習形態

- 地域における各種の交流会や人権学習の推進
- 講演会や芸能発表会の開催とその支援
- 「子ども元気くらぶ」（習字・ヒップホップ・和太鼓・茶道など）
- センター主催の教室（生花・パソコン・スマホ・健康教室など）
- 趣味の教室（絵手紙・琴・陶芸教室など）
- 平和サロン志麻利と連携した平和学習の推進
- 町内外の視察研修やシニアスクールの開催

②参加しやすい環境づくり

- 自治振興会相互や支援センターとの連携による地域学習会
- 地域の拠点施設を利用した教室の開催

③特技や有資格者の登録制度の活用

- 特技や資格を持ち指導できる方の登録制度の立ち上げと活動支援

3−2　図書館の充実と本の活用

①図書館の充実

- シルトピア図書館との連携の推進
- 同じ本でつながる（※）ブッククロッシングの運用

図書限定販売

3−3　伝統文化の継承

①地域の歴史，遺産，伝統文化の継承と活用

- 地域の史跡や「いいとこ再発見」で登録活用
- 書籍や記録・写真などの整理保存とその公開
- 地域の伝統文化の継承などの活動を支援

評価指標

指　標　名	現状値（2019年）	目標値(2025年)
施設の利用者数（申請書）	20,239人/年	21,000人/年
センター主催の講座・教室	216回/1,959人	250回/2,000人
特技や有資格者の登録	0人	50人
地域の史跡やいいとこ登録	0ヶ所	50ヶ所

（※）読み終えた本，素晴らしさをわかってほしい本などを他の人に読んでもらえることのできるシステム。
印は地域（自治振興会・班）が主体，印は支援センターが主体となって取り組む課題

基本目標 4　産業の振興と快適な集落環境づくり

4−1　産業の振興

①地域の特性を生かした農林業の振興

- 道の駅さんわ 182 ステーション，ＪＡ福山市ふくふく市，エブリイなど産直市の活用の推進
- 耕作放棄地など遊休農地の利活用の推進
- 農林産物の栽培指導などＪＡ福山市との連携

②農地の草刈り，有害鳥獣対策

- 農業公社やアグリサポーター制度などの利用
- 草刈り作業軽減対策の試験・検証などを支援
- 有害鳥獣対策の推進（追い払い花火講習会など）

共同作業

③商工業の振興

- 地域企業との連携・相互理解を図るための活動を支援

4−2　観光と交流による地域の活性化

①地域資源を活用した魅力あるイベントと情報の発信

- 井関の花火，小畠の固屋城，高蓋のやまなみ劇団など
- さまざまな機会を利用し，さんわの魅力やふるさとの情報を発信

4−3　快適な集落環境づくり

①「空き家情報バンク制度」の活用の推進

- 空き家の有効利用をすすめるとともに，危険な老朽家屋の解体の促し

②共同作業による集落環境の維持

- 町道や生活道の整備（草刈り，支障木の伐採，除雪など）
- エコハウス設置による資源ごみの活用や地域の環境美化作業の支援
- ウッドチッパーを利用した里山・竹林の整備の推進

評価指標

指　標　名	現状値（2019年）	目標値(2025年)
地域による花いっぱい運動	1件	4件
有害鳥獣追い払い花火講習会	2回	3回
魅力あるイベントの開催	11件	20件
地域の共同美化作業	10ヶ所	20ヶ所

印は地域（自治振興会・班）が主体，印は支援センターが主体となって取り組む課題

第6章　計画推進のためのポイント

1 一人ひとりの理解と協力

- 一人ひとりが集まって地域を形成していることを認識し，地域の様々な取り組みに対し，自分が出来ることでかかわりをもっていきます。
- 一人ひとりの人権を尊重し，地域の融和を保ちながら“「人にやさしいまち」さんわ”をめざします。
- 地区内の全世帯に計画書を配布し，一人ひとりの理解を深めます。

2 三和協働支援センターの取り組み体制

- 神石高原町をはじめとする関係機関，団体との連携調整をすすめます。
- 町内４地区の協働支援センター連絡会議との連携をすすめます。
- 幹事会による定期的な取り組みの検証を行います。
- 部門別計画について，専門部会を中心に取り組みの検証を行います。
- 毎年度の事業計画に反映し、必要に応じた計画の見直しを行います。

3 地域（自治振興会・班）が主体の取り組み

- 三和協働支援センター・各自治振興会・各班との連携をすすめます。
- 三和協働支援センターは，地域の取り組みを支援します。

盆踊り

4 各指標の年度別評価

指　標　名	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
班会議（常会）又は連絡網					63/63
自主防災組織の防災訓練					100%
自治振興会のホームページ					100%
自治振興会告知放送の活用					100%
百歳体操の参加率（65歳以上）					20.0%
拠点施設に出店（実証実験）					3ヶ所
シニアカーなどの安全講習会					3ヶ所
制服譲渡会や世代間交流					5回/年
施設の利用者数（申請書）					21,000人
センター主催の講座 ・教室					2,000人
特技や有資格者の登録					50人
地域の史跡やいいとこ登録					50ヶ所
地域による花いっぱい運動					4件
有害鳥獣追い払い花火講習会					3回
魅力あるイベントの開催					20件
地域の共同美化作業					20ヶ所

専門部委員名簿（2020 ～ 2021 年度）

総務事業部

井　上　晴　視	老人クラブ連合会三和支部
梅　岡　康　成	体育協会
加古川　裕　一	小畠自治振興会
小　林　達　人	坂瀬川自治振興会
近　藤　秀　夫	木津和自治振興会長
延　岡　憲　子	民生児童委員
藤　田　誠　之	消防団三和方面隊長
前　原　隆　昌	井関大矢自治振興会
山　岡　弘　樹	父木野自治振興会
山　口　ヒロ子	女性会三和支部
山　本　喜　久	上自治振興会長
行　則　幸　夫	老人クラブ連合会三和支部
若　林　昌　貴	青年会三和支部

福祉事業部

岡　﨑　熙　史	木津和自治振興会
小　川　壽　子	民生児童委員
鎌　田　智　詞	社会福祉協議会
上　原　圭　一	高蓋自治振興会
木　本　義　章	老人クラブ連合会三和支部
竹　上　康　夫	井関大矢自治振興会長
田　邊　智　喜	青年会三和支部長
田　原　幸　子	女性会三和支部長
永　谷　真　次	父木野自治振興会
長谷川　扶実子	文化連盟三和ブロック
藤　原　正　志	老人クラブ連合会三和支部
三　島　常　正	坂瀬川自治振興会長
山　下　雅　史	体育協会
山　本　尚　良	時安自治振興会

公民館事業部

梅　岡　健　治	民生児童委員
大　元　睦　雄	上自治振興会
大　元　雄　太	青年会三和支部
小　川　善　久	消防団三和方面隊
久　吉　岩　男	老人クラブ連合会三和支部
小　桜　　宏	老人クラブ連合会三和支部
古屋本　　元	小畠自治振興会長
迫　田　富　江	女性会三和支部
高　橋　　等	時安自治振興会
中　原　良　明	文化連盟三和ブロック長
法　谷　延　雄	井関大矢自治振興会
村　野　　守	高蓋自治振興会長
渡　邉　英　行	坂瀬川自治振興会

産業環境事業部

粟木原　大　佑	青年会三和支部
入　江　和　仁	高蓋自治振興会
内　田　広　己	木津和自治振興会
大　田　光　孝	民生児童委員
川　上　誠太郎	消防団三和方面隊
小　林　政　治	小畠自治振興会
瀬　尾　吉　玄	老人クラブ連合会三和支部
瀬　川　一　範	上自治振興会
立　原　忠　義	老人クラブ連合会三和支部長
平　奥　人　士	老人クラブ連合会三和支部
山　岡　隆之介	父木野自治振興会長
山　本　生　美	女性会三和支部
渡　邉　昌　二	時安自治振興会長

三和協働支援センター

センター長	藤　岡　健　三	担当　総務事業部
事務局長	小　川　宜　子	担当　産業環境事業部
事務局次長	石　﨑　小百合	担当　公民館事業部
事務局員	山　﨑　さつき	担当　福祉事業部

「人にやさしいまち」さんわをめざして

― 第２期三和地区まちづくり計画 ―

発　　行　　2021年４月

編集・発行　　三和協働支援センター
〒720-1522
広島県神石郡神石高原町小畠2025番地

印 刷 所　　佐々木印刷株式会社

三和協働支援センター
〒720-1522
広島県神石郡神石高原町小畠2025番地
TEL：0847-89-3345　FAX：0847-85-3399